

大阪公立大学 高インセンティブ型テニュアトラック教員募集要項
〔イノベーションアカデミー共創研究院・医学研究科・分子病態薬理学分野〕

2026 年 9 月 9 日

人事委員会

この度、大阪公立大学の専任教員を募集することになりましたので、下記によりご応募いただきますようお願い申し上げます。

1	募集人員	高インセンティブ型テニュアトラック准教授（HITT 准教授） 1 名 ※高インセンティブ型テニュアトラック制（任期付き雇用による優秀な研究者が大阪公立大学のプレゼンスが向上する先端的・独創的な研究を遂行し、資格審査によってテニュア教員となるキャリア・パスを提供する制度）による採用です。	
2	所 属	イノベーションアカデミー共創研究院/ 医学研究科・分子病態薬理学分野/医学部・分子病態薬理学分野 ※テニュア審査によりテニュア教員となった場合、所属組織は医学研究院に異動となります。（担当する研究科・学部は原則として変わりません。）	
3	研究分野の内容	トランスレーショナルリサーチを志向した分子病態薬理学 （高インセンティブ型テニュアトラック教員として研究室を立ち上げ、医学系教員等とも協力して双方向型トランスレーショナル研究を推進し、新たな包括的基礎・臨床研究を創造できる方）	
4	職務内容（予定）	教育	・ 担当授業科目（予定）分子病態薬理学分野の担当授業科目 〈学部・学域〉医学部 〈研究科〉医学研究科 ・ 大学院・学部における専門分野の研究指導 <テニュア教員移行後の取扱い> 高インセンティブ型テニュアトラック制度においては、研究活動促進のため、テニュアトラック期間中の授業担当は年間通じて週 1 コマを上限としていますが、テニュア教員移行後には下記の教育を担当していただく予定です。 ・ 担当授業科目（予定）分子病態薬理学分野の担当授業科目 〈学部・学域〉医学部 〈研究科〉医学研究科 ・ 大学院・学部における専門分野の研究指導 ・ 大学院・学部・学域における専門分野の教育及び基幹教育 ※大阪市立大学、大阪府立大学の学生が在学中は、対応する教育についても担当していただきます。

		研究	・薬理学を基盤としたトランスレーショナル研究およびリバーストランスレーショナル研究 ・実験・情報科学の融合研究による病態機序の解明および新規治療標的の探索研究 ・マイクロバيوーム研究を基盤とした創薬・先制予防医学研究を推進できることが望ましい。
		その他	・社会貢献活動 ・大学運営にかかる業務
		変更の範囲	・教育、研究、大学の管理運営の範囲内
5	着任予定時期	2027 年 4 月 1 日	
6	勤務形態	常 勤（任期の定め：5 年） ※今回採用される高インセンティブ型テニユアトラック教員は、5 年目のテニユア審査でテニユアが付与された場合、テニユア教員へ移行します。テニユア教員移行時の職階は、評価結果に応じて、教授又は准教授のテニユア教員となります。なお、3 年目に実施される中間審査時又はそれ以降にテニユア資格審査基準を満たすに至ったと認められる場合は、テニユア審査の時期の繰上げが可能です。また、5 年の任期中にテニユア資格が付与されない場合は、1 年を限度とするセーフティ・ネット雇用制度が準備されており、セーフティ・ネット期間中に高インセンティブ型テニユア審査基準を満たすに至ったと認められる場合は、再度のテニユア審査を可能としています。高インセンティブ型テニユアトラック教員が、テニユアトラック期間内において、大阪公立大学の教員の任期に関する規程（以下「任期規程」という。）第 4 条第 1 項各号に掲げる休業等をした場合は、同条の定めるところにより、テニユアトラック期間を延長することができます。 高インセンティブ型テニユア審査基準や大阪公立大学の高インセンティブ型テニユアトラック制の概要については、以下の URL よりご覧いただけます。 ＜テニユア審査基準＞ https://www.omu.ac.jp/research/recruit/faculty/entry-01745.html ＜高インセンティブ型テニユアトラック制の概要＞ https://www.omu.ac.jp/research/recruit/faculty/entry-01745.html	
7	給与・手当等	「大阪公立大学年俸制教員給与規程」に定める年俸制が適用されます。 https://www.upc-osaka.ac.jp/regulation/ ※テニユア審査を経てテニユア教員となった後も引き続き「大阪公立大学年俸	

		制教員給与規程」に定める年俸制が適用されます。
8	勤務場所	大阪公立大学 阿倍野キャンパス
	勤務場所 (変更の範囲)	法人の定める事業場
9	応募資格	・博士の学位を有する方。 ・医学研究科等の教員と連携し、日本語および英語により双方向型トランスレーショナル研究を積極的に展開できる方。 ・薬理学を基盤とした研究実績を有し、大学院および学部において研究指導を担当できる能力を有すること。 ・医学、情報学、工学等を融合した学際的共同研究を推進できる能力を有することが望ましい。 ・科研費や JST さきがけ・創発など、外部資金の獲得に積極的な方 ・大学の管理運営に関する能力と熱意のある方 ・学校教育法第 9 条に規定する欠格事項に該当しない者
10	応募書類	記入例、記入要領を参考に下記のデータを提出してください。 (1) 履歴書〔様式 1〕 (2) 教育研究業績書〔様式 2〕 (3) 「教育、研究の経過と将来に対する抱負」〔様式 3〕 (4) 「これまでの研究概要と着任後の研究目標および研究計画」(A4 判 3 ページ以内、様式自由) (5) 推薦書〔様式 4〕 (6) 応募者について参考となる意見を伺える方の氏名・所属・連絡先(電子メールと電話番号)と、応募者との関係を示す記載(自由様式)。 ※選考の過程において、追加書類のご提出をお願いする場合があります。
11	応募締切	2026 年 10 月 14 日(水)
12	選考方法	(1) 1 次選考(書類選考) (2) 2 次選考(必要に応じて面接等をおこなう) ※ なお、面接等のために要する経費は、応募者の負担とします。
13	書類提出方法	・以下 URL より応募書類をご提出ください。 https://logoform.jp/f/1dL0T ・応募書類は 1 つの zip ファイルにまとめたうえで、zip ファイル名を「医学研究科分子病態薬理学分野所属教員応募書類+氏名」としてください。パスワードの設定は不要です。 ※ 提出書類に記載された個人情報、教員採用選考の資料としてのみ利用し、個人情報保護に関する法律に基づいて適正に取り扱います。

14	問合せ先	〔専門分野関係〕 大阪公立大学 医学研究院 医学研究科 分子病態薬理学 担当者：富田 修平 Mail : tomitas_at_omu.ac.jp ※_at_を@に置き換えてください 電話 : 06-6645-3731
15	その他	〔募集全般〕 公立大学法人大阪人事委員会事務局 電話：06-6967-1824（ダイヤルイン）
		・本募集は、公立大学法人大阪が、『大阪公立大学』に勤務する教員として採用するものです。 ・大阪公立大学では、多様性の確保・国際化の理念に基づき、専門分野が合致し、同等の教育・研究業績があると認められる場合には、女性教員や外国人教員の積極的な採用に取り組むこととしています。